

第3回 学校運営協議会 記録

令和3年2月4日

1. 学校長挨拶

- ・緊急事態宣言下の協議会開催について
 - ・令和2年度学校経営計画について
 - ・令和3年度学校経営計画について
- いずれも承認

2. 委員・出席者の紹介

※今回同席する初任3名の紹介

3. 報告

(1) 学校教育自己診断結果分析報告

① 3年

今年度は「さくら連絡網」による回答に変更。コロナ禍のため、学校行事、部活動参加のポイントが減少した。36期生が入学した頃からコンピュータ等の施設が整ってきたため、授業でのプロジェクター利用等の数値が上がってきたと思われる。

② 2年

学校行事が減少したことから「学校へ行くのが楽しい」数値が下がったかと思われる。一方で「教員が相談に乗ってくれること」などの数値は上昇し、また「遅刻・欠席がない」数値が上がっていることから、生徒の遅刻や欠席に対する意識が改善してきている。

③ 1年

コロナ禍のため行事等の中止により「交流」に関する数値は低かった。「災害や不審者侵入」に対する対応は数値が上がっているが、100%に近い数値を目指していくべきである。

④ 職員

68項目が上昇、10項目が減少した。コロナ禍で教員同士の話し合いや会議が増えたことから「教員間の話し合い、意思疎通」「各分掌・各学年間の連携」等が大幅に上がっているのではないかと。「生徒、保護者との関係・行事等」については例年と変わらず教職員が一貫した指導ができていると感じる。

(2) 重点目標達成状況報告

①学習指導部

考查業務では、ミス防止策の周知・徹底をすすめていく。今年度はコロナ禍のため科目選択の全体説明ができずに例年とは違うやり方で実施したが、生徒の不利益にならないように次年度以降の対応も考えていく。またオンライン授業に対応するために委員会をたち上げることや、本校で行われる課題研究と図書室の利用の連携をすすめる等、新しい取り組みも試みた。

②生活指導部

今年度のテーマは2つ。「自立」と「誠実な人」を促す指導である。今年追加した後者のテーマにより複数回同じ指導を受けた生徒が減少し、一定の効果が見られた。スカート丈の指導については、今年度 38 期生徒から着手し、来年度 39 期生から基準を明確化して指導していく。また授業中のトイレに行く回数や制服の着くずしに対する指導が今後の課題である。

③保健指導担当

今年度はコロナ禍のため「さくら連絡網」を利用した生徒の健康チェックや消毒の徹底等、新しい取り組みや対策をした。また年 10 回のスクールカウンセラー、年 7 回のスクールソーシャルワーカー、年 2 回の精神科医による相談会等、支援の充実を図った。

④自主活動育成

今年度は実施できなかった行事があった中、体育祭をアリーナで開催したことや、団 T シャツを導入したこと等工夫することにより、学校行事への参加意識肯定率の上昇が見られた。文化祭での服装規定等も生徒会が自主的に決定・運営した。

⑤ガイダンス部+進路状況報告

今年度は求人票が減少して就職が厳しい中、1次内定率が 71.4%と全国や大阪府の平均内定率を上回った。面接指導、志望理由書の指導等をきめ細かく指導した結果が表れたかと思われる。進学では「摂神追桃」レベルの合格者が出ていること、専門学校進学では実学系の志望者が増えていること等から、自分の将来をしっかりと考えている生徒が多くなってきているように感じられる。

⑥人権教育

今年度は人権教育プログラムの大幅変更を余儀なくされたが、本校の卒業生を招いて話しをしてもらうなど工夫することができ、いい点も見られた。また週に一度の人権担当者会議で情報交換、共有がスムーズにできている。

⑦3年

コロナ禍の影響でスケジュールの変更が多く、生徒との連携を図る機会もなかなか持てず、色々なことが実況できなかった。その中でも生徒が教職員の協力のもと、進路実現に向けて自分たちのやりたいことに進めたことがよかったと感じている。

⑧2年

「挑戦できる自分」「尊敬できる自分」を目標にしてきた。文化祭の演劇では自分をしっかりと持って表現することができた。それを生かして来年度進路実現に向かってほしい。自分勝手な行動をする生徒が少なくなったと感じており、礼儀を引き続きしっかりと指導していきたい。

⑨1年

「仲間を大切にできる人をめざす」ことを目標に、「授業」と「時間」を大切にできる人をめざす指導をしてきた。入学式や遠足、球技大会等、様々な行事が実施できなかった中、生徒の学校に対する評価は高かった。これは来年度以降に対する期待も含まれると思われる。2年次以降に今年度の指導の成果があらわれるだろう、と感じている。

⑩PTA

「さくら連絡網」の加入率の上昇を促していきたい。大阪府PTA協議会では、実現できなかった行事が多かったが、夕陽丘高校で音楽演奏会を開催できたことがよかった。次年度も何らかの形でPTA行事の開催を考えて保護者の参加を促していきたい。

(委員の方からの質問事項および意見)

委員A：コロナ禍による経済状況悪化により、進路に影響があったか？

A：急な進路変更はなかった。奨学金制度の利用もあり進学希望者への影響は少なかったと思われる。

その他

- ・通信障害により今年度は連絡手段を「クラッシー」から「さくら連絡網」に変更。
- ・コロナ禍の中、工夫して様々な行事を開催できたことがよかった。

4. 協議

(1) 令和2年度学校経営計画達成状況の評価

- ・1年生、2年生、3年生すべてにおいて肯定値が昨年より増加している。
- ・「担任以外に気軽に相談できる教員がいる」は、肯定率は上がったが目標値には届かず。

- ・コロナ禍のため社屏授業でリサーチができなかったこと等から、「進路」については肯定率が減少。
- ・地域や他校との交流は、行事のキャンセル等が理由で肯定率が下がった。

(2) 令和3年度学校経営計画策定に向けてのご意見

委員A：来年度導入されるタブレットを利用した授業展開について研究する。

委員B：学校運営と生徒会の連携について。スカート丈の指導について生徒に考えさせてみる事等はどうか

委員C：コロナ禍の中、様々な行事が開催されたことに感謝している。

委員D：「学校に行くのが楽しい」と答える生徒が100%になるように我々は考えていかなければならない。

委員E：コロナ禍の中でも、様々な進路があり、進学、就職に影響が少ないことは総合学科の強みであると思う。

(3) 教科書選定に関して

承認

(協議終了)

5. 連絡

特記事項なし